



あなたを探していた

ルート29

綾瀬はるか 大沢一菜
監督・脚本 | 森井勇佑

原作 | 中尾太一「ルート29、解放」(書肆子午線刊)
制作 | 東京テアトル U-NEXT ホリプロ ハーベストフィルム リトルモア
配給 | 東京テアトル リトルモア
©2024「ルート29」製作委員会

トンボの旅が始まる

綾瀬はるか主演最新作 新たなロードムービーの傑作誕生

監督デビュー作『こちらあみ子』(22)で、数多くの賞を受賞し映画ファンを魅了した森井勇佑。待望の2作目は、中尾太一の詩集「ルート29、解放」(書肆子午線刊)からインスピレーションを受け、姫路と鳥取をつなぐ国道を1ヵ月近く旅しながら、独創的なオリジナル脚本を執筆。主演に綾瀬はるかを迎え、その相棒に『こちらあみ子』の大沢一菜。ひとりぼっちの主人公が、風変わりな女の子を連れて旅に出た先での様々な出会い、そこで深まる絆を通して、からっぽな心に喜びや悲しみの感情が満ちていく、優しさにあふれる感動のロードムービーが完成した。

からっぽな心が満ちていくトンボの旅

他者と交わろうとしない女性・のり子(綾瀬はるか)は、鳥取の町で清掃員として働いている。ある日、仕事で訪れた病院で、入院患者の理映子から「姫路にいる私の娘をここに連れてきてほしい」と頼まれた彼女は、何かに突き動かされるように姫路へと向かう。のり子が見つめることができた少女・ハル(大沢一菜)は、林の中で秘密基地を作って遊ぶような風変わりな女の子だった。初対面ののり子の顔を見て、「トンボ」というあだ名をつけるハル。さまざまな人たちと出会いながら、姫路から鳥取まで一本道の国道29号線を進んでいく2人の旅が始まった――。



お前、今日からトンボな
うん

ルート29
11月 ロードショー